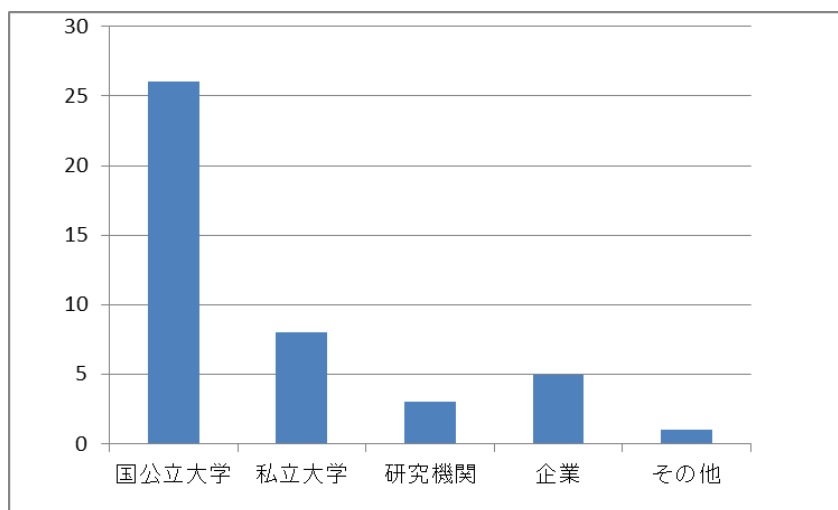


文部科学省 新学術領域研究「コホート・生体試料支援プラットフォーム」
 シンポジウム「日本のゲノムコホート研究の現状と未来 ～研究支援の立場から～」
 平成 28 年 12 月 10 日

《参加者アンケート結果》

【1】 あなたの所属機関は。



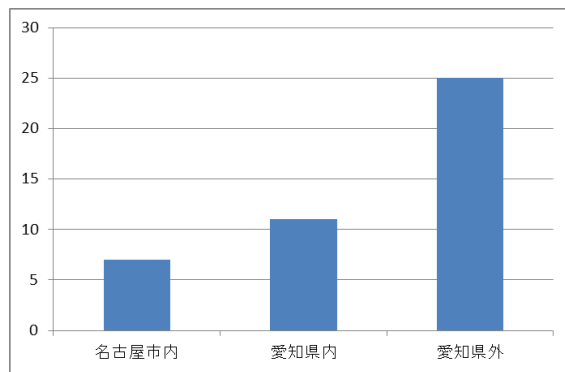
【2】 あなたの所属は。

- ・ 疫学
- ・ 予防医学
- ・ 公衆衛生学
- ・ 社会医学
- ・ 国際離島医療学
- ・ 医歯学総合研究科
- ・ 治験支援
- ・ 保健学研究科
- ・ 健康科学
- ・ 食品栄養科学
- ・ 健康栄養学
- ・ 分子生体制御学
- ・ 病理診断学
- ・ 統計学
- ・ 遺伝子医療研究
- ・ がん予防・情報学
- ・ 生体情報解析部門
- ・ 保健学研究科代謝機能学
- ・ 社会システム研究領域

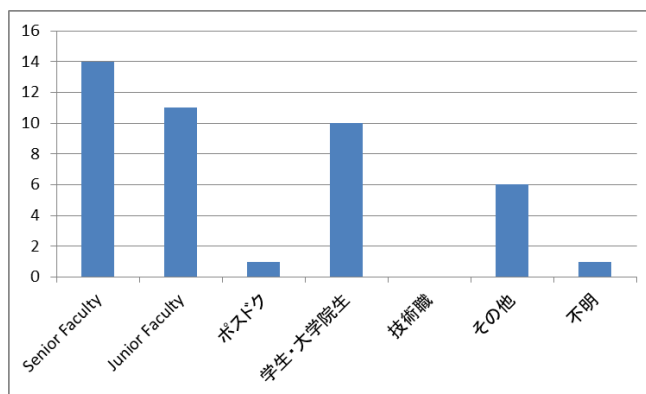
【3】 あなたの専門分野は。

- ・ 疫学
- ・ 分子疫学
- ・ 栄養疫学
- ・ 運動疫学
- ・ 分子栄養疫学
- ・ 公衆衛生学
- ・ 予防医学
- ・ 産業保健
- ・ がん
- ・ 生活習慣病
- ・ 尿酸
- ・ 歯科学
- ・ 循環器
- ・ 予防医療情報解析学
- ・ 遺伝学
- ・ エピジェネティクス
- ・ 外科病理学
- ・ 神経解剖学
- ・ 精神医学
- ・ 婦人科学
- ・ 運動生理学
- ・ 分子生物学
- ・ 生化学
- ・ 代謝栄養学
- ・ 統計学
- ・ バイオインフォマティクス
- ・ 心臓安全性評価（計測）

【4】あなたの所属機関の所在地は。

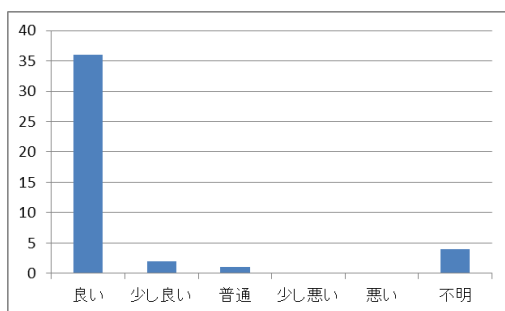


【5】あなたの職名は。

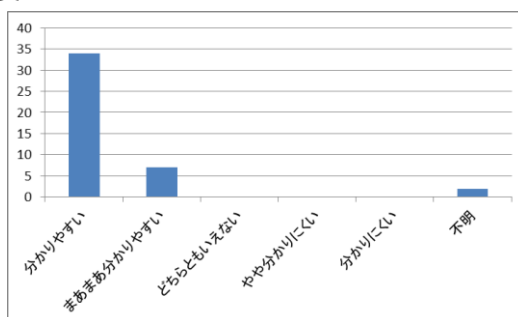


【6】シンポジウムはいかがでしたか。

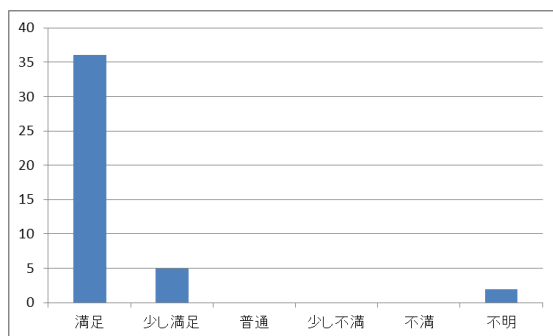
①内容



②理解度



③満足度



【7】感想・ご意見

- ・良い情報交換、連携の場になったと思います。刺激になりました。
- ・有意義な時間をすごせました。
- ・様々なコホート研究がどのように計画され、実行されているかを知ることができ、充実していた。特に東北のコホートの講演はとてもわかりやすく、興味がわく内容だった。
- ・他のコホート研究の研究内容、概要に関して、お聞きすることが今まで無かったので良い機会となりました。今後、ゲノムコホート研究から、疾患発症リスクの予測が確立されることに期待します。
- ・勉強になりました。
- ・利用希望者の出席が少ないように思う。